

第9回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアが必要な重症心身障がい児者が在宅で生活を送る中、支援に関わる医療、福祉、教育、行政等関係者が一同に会し、支援者のすそ野をひろげ、相互に顔がみえる関係づくりを目指し、岐阜県小児在宅医療研究会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマ 小児在宅医療における地域連携支援について

日時 平成30年12月9日(日)
13:30～17:00(開場 13:00)

場所 岐阜県立看護大学 講堂
(羽島市江吉良町3047-1)

定員
200名様
参加無料

・ プログラム ・

13:30～13:35 **開会あいさつ**

西 哲也 岐阜県健康福祉部次長

13:35～14:35 **基調講演**

「小児在宅医療における地域連携支援 ～北海道の事例をもとに～」

土島 智幸 医療法人稲生会 理事長・生涯医療クリニックさっぽろ 院長

14:45～16:55 **シンポジウム**

<座長> 西村 悟子 岐阜大学大学院医学系研究科 障がい児者医療学寄附講座 特任准教授
山本 崇裕 岐阜大学大学院医学系研究科 障がい児者医療学寄附講座 特任助教

○発表：14:45～16:05

- ①「急性期病院の中の慢性期病棟としての「すこやか」の意義と役割」
長澤 宏幸 岐阜県総合医療センター 重症心身障がい児施設すこやか施設長
- ②「飛騨地域におけるナーシングデイの役割を考える」
今井 由香里 岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山 児童発達支援管理責任者
- ③「同じ時代に今出逢えた子どもたちと意思のままに生きるためには」
瀬瀬 栄司 特定非営利活動法人らいふくらうど理事長・放課後等デイサービスゆう管理者
- ④「プロデューサーが見た全国の重心児・医ケア児通所施設」
平田 節子 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック 総合プロデューサー

○総合討論：16:15～16:55

16:55～17:00 **閉会あいさつ**

松原 繁俊 岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課長

主催：岐阜県

後援：岐阜県医師会・岐阜県小児科医会・岐阜県歯科医師会・岐阜県薬剤師会・岐阜県看護協会・岐阜県特別支援学校長会

お問い合わせ(事務局)：岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 障がい児者医療推進係
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL (058) 272-8279 FAX (058) 278-2871

お申し込みはFAXでお願いいたします

お申込み先

FAX: 058-278-2871

障がい児者医療推進係：上野・清生宛 締切：平成30年11月30日(金)

第9回岐阜県小児在宅医療研究会 参加申込書

申込者所属 (施設名など)		
申込者 連絡先	(住所) 〒	—
	TEL	FAX
	メールアドレス (今後のご案内を電子メールでお送りしたいと思いますので、ご了承いただける方はメールアドレスをご記入ください)	
(フリガナ) 出席者氏名 ・ メール アドレス	1	(職種:)
	2	(職種:)
	3	(職種:)
	4	(職種:)
	5	(職種:)
ご連絡事項	★参加にあたり車イスなど特別な対応が必要な場合はご記入ください ★保育サービスはございませんので予めご了承ください	

会場へのアクセス

会場：岐阜県立看護大学 講堂
(岐阜県羽島市江吉良町3047-1)

岐阜羽島駅／南口から 徒歩15分

自家用車でお越しの場合、
駐車場へはキャンパス北通用口から
お入りください

